

干潟の保全に関する考察－三番瀬を例として－

日本大学大学院 学生会員 塚前英樹
 日本大学大学院 学生会員 高橋直大
 日本大学理工学部 フェロー 竹澤三雄

1. まえがき

最近、干潟や浅瀬の重要性が認識されるようになり、全国で干潟や浅瀬を守ろうという動きが出てきた。東京湾の三番瀬は、1960年代からごみ処分場建設のための埋め立て計画があったが、2001年3月に千葉県知事の堂本暁子氏によって白紙撤回され、現在、その保全策が検討されている。東京湾の干潟は、昭和50年代には約1864ha残っていたが、その後の埋め立てによって現在では約1600haにまで減少した。高度経済成長の流れと共に工業用地、住宅用地、商業用地として、東京湾が埋め立てられてきたのである。本研究は東京湾の三番瀬について、ここに訪れる人がどのように感じ、どのような関心を持っているかについてアンケート調査して、今後、この干潟の保全のあり方について検討するものである。

2. 三番瀬について

東京湾の三番瀬は旧江戸川のデルタ地帯で、この辺りの海辺は鎌倉時代から塩田として干拓され、昭和の初期まで貴重な塩の供給源で、その塩田の先には美しい葦の原や松原が続き、前浜は広大な干潟であったといわれている。しかし、昭和30年ごろからこの海岸の埋め立て事業が始まり、干潟の大部分が消滅した。三番瀬に残された干潟は約1200haで、江戸川の河口をはさんで、千葉縣市川市と船橋市に広がっている。船橋市側は、船橋海浜公園から干潟に親しめ潮干狩りを楽しむことができるが、市川市側は、一部、市川漁港として使用されているが、その他の部分はすべて直立護岸でできており、前面の海は廃船や大型廃棄物などでヘドロの海と化している。しかし、三番瀬は東京湾の一番奥に残された最後の大規模な干潟であり、浅瀬である。そこにはプランクトンが栄養分として蓄積され、二枚貝やゴカイ類などが生育し、さらに鳥類などが集り、熱帯雨林やさんご礁にも匹敵するほど生物の宝庫である。この三番瀬に春から秋にかけての大潮のとき、大きな干潟が広がり潮干狩りや野鳥観測に多くの客が集る。図-1および写真-1は三番瀬の位置とその現況である。

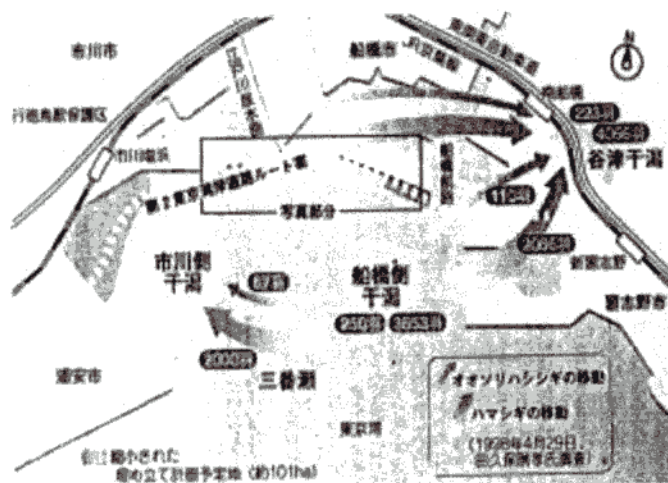
図-1.三番瀬の位置¹

写真-1. 三番瀬の現況

キーワード：干潟・三番瀬・海浜公園

連絡先：東京都千代田区神田駿河台1-8 日本大学理工学部土木工学科，TEL/FAX03-3259-0676

3. アンケート調査について

この三番瀬を訪れた訪問客に、三番瀬干潟のあり方について次のような項目についてアンケート調査を行った。

1) 年齢、2) 性別、3) 三番瀬を訪れた目的、4) 何処に住んでいるか、5) ここを訪れた回数は、6) 三番瀬以外の干潟に行ったことがありますか、7) 再びここを訪れたいと思いますか、8) 干潟という言葉を知っていますか、9) 干潟とはどういうところか知っていますか、10) ラムサール条約を知っていますか、11) 三番瀬は他の干潟と比較して違う点は何ですか、12) 三番瀬干潟の良い点と悪い点は何か、13) 三番瀬干潟の状況は年々どのように変化していますか、14) 全国的に干潟が減少していることを知っていますか、15) 干潟が減少していることについてどのように思いますか、16) 人工干潟についてどのように思いますか、17) 三番瀬では埋め立てが問題になっていますがどのように思いますか、18) 三番瀬に湾岸道路の建設が問題となっていますがどのように思いますか、19) 三番瀬干潟を守るべきであるとした場合今後どのようにすればよいと思いますか、20) 三番瀬干潟をなくすべきであるとした場合今後何をすればよいと思いますか。アンケート調査結果は次のとおりである。1) 9歳以下0%、10代10%、20代24%、30代34%、40代28%、50歳以上9%、2) 男61%、女39%、3) 潮干狩り55%、野鳥観測25%、その他20%、4) 東京35%、船橋27%、市川14%、千葉12%、その他12%、5) 初めて21%、2回目15%、3-5回目25%、6-10回目7%、11回以上32%、6) 富津10%、盤州10%、谷津9%、その他34%、なし37%、7) YES100%、NO0%、8) YES91%、NO9%、9) 湿地帯、野鳥の休息地、水質浄化機能、10) YES48%、NO52%、11) 砂質が良い、12) 良い点：交通アクセスがよい、悪い点：駐車場が狭い、13) 貝が減ってきた、14) YES75%、NO25%、15) 野鳥の生息域や個体数の減少が心配、16) 維持管理のために多額の費用が必要、17) 水循環や生態系に悪影響、18) 騒音や排気ガスなどによる環境悪化するが、千葉・東京・横浜間の渋滞緩和、19) 市民の関心をもっと高め、ボランティアグループをもっと立ち上げシンポジウムを開催、ラムサール条約に登録、20) 24時間営業のレジャー施設。

4. 考察

今、世界的に自然保護が叫ばれている。1985年に東京・神奈川・千葉・埼玉の各知事と横浜・川崎・千葉の各市長で構成された首脳会議で東京湾フェニックス計画が取り上げられ、長期的観点からは海面等における廃棄物の広域処理が必要とのことで検討委員会が発足した。東京湾フェニックス計画の最初の候補地は浦安沖であったが、その後三番瀬が候補地となった。三番瀬の埋め立て計画では、埋立地に流域下水道の終末処理場や第2湾岸道路を建設するほか、広域公園を建設する計画であった¹。当初は三番瀬全体の約半分の740haを埋立する予定であったが、その後その1/7に縮小され、さらに2001年に白紙撤回された。東京デズニールランドもかつては沖の百万坪といわれる魚の宝庫であった。1958年に江戸川上流からの工場廃液によってこの沖の百万坪の一部が汚染され、1962年に浦安漁民はこの漁場を手放し東京デズニールランドに姿を変えたのである²。今回の調査から、三番瀬の訪問目的、すなわち潮干狩りの人、野鳥観測の人によって考え方や関心度が異なっている。関心のない人は干潟という言葉すら知らない人がいるという現状がある。一方、関心度の高い人は干潟に住む生態系の破壊を心配する声が高い。船橋市と市川市にはそれぞれ125漁業経営体と142漁業経営体があり、三番瀬を中心とした海苔の養殖業、小型底引き網業、刺し網業、採貝業、採藻業などによって漁民の生計が立てられている。1経営体あたりの平均従業員数は約1.5人と少ないが³、三番瀬埋立て問題に絡む漁業補償の問題も自然保護の問題と共に同時に関心を払はなければならない。三番瀬埋立て問題は白紙撤回されたが、今後、この地区をどのように保全するかが重要な課題である。江戸川放水路からの安易な放水は三番瀬の生態系を破壊しているという事実から、三番瀬に注ぐ河川についても同時に考えていく必要がある。

参考文献

¹東京新聞：ゴミで海を殺さないで1998年10月5日号、²朝日新聞夕刊：消えた海の物語1999年7月6日

³農林水産省統計情報部：第10次漁業センサス第3報、海面漁業に関する統計(市区町村編)平成12年3月